

会則第74条第1項の規定により議決を求めます。

## 平成29年度 事業計画(案)

### 平成29年度 事業執行に当たっての基本方針

昨年度は、私たちの記憶に残る出来事や北海道の歴史に残る出来事が多い一年でした。

3月の北海道新幹線の開業は、道外との一層の交流拡大をもたらすなど本道の活性化にとって大きな弾みとなりましたし、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックやアジア冬季競技大会での道産子選手の活躍、夏の甲子園大会での北海高校の準優勝など、北海道全体が歓喜に沸くような明るい話題が続きました。

しかしながら、その一方で、8月の観測史上初となる3度の台風上陸などによる記録的豪雨は、道内各地にかつてない甚大な被害をもたらし、また、年末には、道内初となる高病原性鳥インフルエンザウィルスの家禽への感染が確認されるなど、北海道の経済産業活動や我々の生活に大きな影響や傷跡を残しました。

このような中で、先の豪雨災害等により、経営に影響を受けている十勝地区と上川地区の中小企業者等を対象として開催された道主催の経営・金融相談会に関係支部が参加し、頼れる街の法律家として一役を担ったほか、法教育活動については、小学校と高校において実際に出前講座を行い、今後の事業展開に道筋がついたところです。しかし一方では、OSS（自動車保有関係手続のワンストップサービス）の本年度からの導入に伴う業務への影響が懸念されることや他土業等との間で職域をめぐる問題が顕在化しつつあるなど、私たち行政書士を取り巻く社会経済環境は依然として厳しい状況が続いています。

このため、財政、制度、人材といった本会の組織の要諦については、将来にわたって持続的に発展できる基盤づくりを着実に推進していくことが肝要ですので、次の施策を基本方針として位置付け、引き続き本会の運営に全力で取り組んで参ります。

#### 1 職域の確保、拡大に向けた取組の推進

行政書士を取り巻く社会経済環境が大きくかつ急激に変化する中で、行政書士業務においても規制緩和や業際問題、業務量の減少、業務内容の変化といった多くの課題に直面しています。このため、コンサルタント業務や受託事業の拡大、新規分野の業務開拓等について、的確な情報の把握に努めるとともに調査研究や取組を進めるなど、将来を見据えながら地域住民や地域を支える中小企業等の利便に資する職域の確保、拡大に向けて取り組んで参ります。

#### 2 広報、社会貢献活動の充実

行政書士制度について広く住民の理解を深め、もって制度のさらなる発展に資するため、テレビやラジオ等の各種広報媒体を活用して、一層広範で効率的、効果的な広報啓発活動の推進に努めるとともに、本会、支部における無料相談会や教育現場における法教育活動等を通じて、社会に貢献できる活動の充実に努めて参ります。

### 3 財政基盤の確立

近年、新入会員の増加等により本会の会員数は増加基調にあるものの、行政書士試験受験者数の減少傾向や会員の高齢化の進展、諸手続の電子化の進展等の状況に鑑みると、将来の会員数の減少や日行連の会費の値上げ、行政書士制度の変化等の事態に的確に対処しつつ、安定的、継続的に会務の運営ができる体制を構築していく必要があります。このため、事業の効率的、効果的な執行や収入額の確保等に引き続き努めるとともに、不要不急の事業の見直しやスクラップ・アンド・ビルドを進めるなど、足腰の強い財政基盤の確立を図って参ります。

### 4 研修制度の充実

行政書士制度の発展のためには、国民の信頼に応え、制度を担う人材の育成が不可欠です。行政書士をめぐる社会経済環境の変化や会員のニーズに引き続き配慮しつつ、会員の能力向上や倫理の保持に資する研修のさらなる充実に努めて参ります。

また、支部会員の負担軽減を図るための研修環境整備、支部実施研修に対する支援策、本会実施研修と支部実施研修のあり方、専門性の確保・向上等について引き続き検討を進めて参ります。

### 5 組織及び業務執行体制の見直し

近年、各部横断的な事案や共同で取り組まなければならない案件等が増えてきたことから、実態に即した組織運営を図るため、引き続きプロジェクトチームにおいて本会の組織機構のあり方について中・長期的な視点に立って検討を進めて参ります。

### 6 特定行政書士制度の推進

引き続き日行連と緊密な連携を図りながら、一人でも多くの特定行政書士の誕生を目指すとともに、国民の権利利益救済の役割が期待される特定行政書士の認知度の向上に努めて参ります。

### 7 法改正の推進

日行連及び日政連と連携し、行政書士制度の目的規定の整備やADR代理権の獲得、聴聞又は弁明の機会付与に係る代理手続の制限の解除など、行政書士制度や業務・職域に係る法改正に向けた取組を進めて参ります。